この冬は寒さが厳しくて、春の訪れが、ことのほか待ち遠しく感じられました。

私は、家々の庭先が梅に始まり、桃、桜、れんぎょうなどで次々と彩られていく春が大好きです。草木の生命感あふれる姿に、生きていく勇気を与えられる思いがします。

私たちの日常生活は、何かしら忙しく、自然を身近に感じることさえ本当に少なくなりました。物質的には豊かになったと思いますが、その反面、失いつつあるものもたくさんあります。その代表が緑豊かな生活環境ではないでしょうか。そこで、今、グリーンピックなのです。

グリーンピックについては、屋外広告塔やテレビ、ラジオ、新聞などでご存じの方も多いと思いますが、私がひと足先にご案内しましょう。

今から楽しみ！緑の祭典。

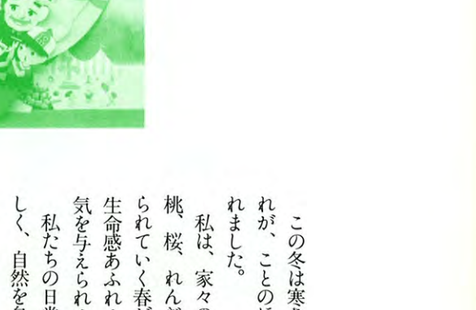
◆速報!!クマモトグリーンピック'86

着々と準備が進む会場

グリーンピックは、正式には第四回全国都市緑化くまもとフェアといいます。都市緑化フェアは、建設省の提唱で、緑豊かな街づくりをすすめる意識を盛り上げていくイベントとして始められ、過去、大阪・東京・神戸で開催されています。そして、初の地方都市開催として今年熊本で行われることになりました。会期は、八月一日から十月十二日までの七十三日間。入場者は百万人以上を目指しています。場所は、水前寺江津湖公園、水辺動物園の隣りで二十二ヘクタールの規模です。

二月末現在でメーンゲートと日本庭園の石積みがほぼ完成し、残りの工事が急ピッチで進められています。小川の流れる日本庭園の石組みは立派で、完成時の素晴らしさが想像されます。

グリーンピックは、家族、友人で、楽しみながら緑に対する認識を深めていこうというもので、それはもうおもしろい企画が満載です。



ママさん特派員
吉岡聖子さん

ツクバの人気パビリオンもやってくる

私が一番楽しみにしているのは何といっても、昨年開かれた筑波科学博でもっとも人気を集めた富士通やサントリーの企業館が形を変えてやってくることです。科学博に子供を連れていってやりたいと思いながらも、遠すぎてとうとう行けませんでしたが、今回、科学博に出展されたものも見られるということですので、子供と一緒に今から楽しみにしています。また、科学博で話題を呼んだ一万個の実がなるというトマトの木も展示されます。これはバイオ館の目玉となります。一口に一万個というけれど、想像を超えた壮大なものだろうなあと今からワクワクです。

この他に本田技研、NEC、NTT、松下電器なども出展を予定されているそうです。各社とも先端技術で産業界をリードしていく企業ですから二十一世紀の未来社会とその暮らしをコンピュータやロボットを駆使して紹介してもらえるのではと、これまた楽しみです。

◇

どれを見ようかな 手作りな見もの

「テーマ館」では、緑と水と私たちの暮らしとのかかわりを楽しく紹介します。押し花、竹細工などの「緑の教室」も開かれています。ぜひとも親子で参加していただきたいですね。

「映像館」では、レーザー光線、シンセサイザーなどを使って私たちの身近な緑と暮らしを映し出します。迫力満点の映像の中から緑に対する認識を深めていってほしいですね。

「バザール館」では県内外の特産品が並びます。いながらにして全国の珍しいものが手に入りますので、買物好きの奥様方にお奨めします。

前売券好評発売中！

開場時間は八月中が午前九時から午後九時まで。九月以降は午後六時までとなっています。

夏の太陽が西に沈み始めた頃から出かけて、夕涼みがてらに会場を回るのもいいかもしれません。

さて、気になる入場料ですが、こんなに楽しめて、大人、当日券が千二百円、高校生千円、小中学生七百円、幼児三百円です。前売り券はそれぞれ千円、八百円、五百円、二百円となっており、前売り券をお求めになるのが絶対にお得です。三月三十一日までに前売り券をお買い求めになると特等グアム旅行が当たる抽選のチャンスが二度あって、さらに楽しみが増えます。前売り券は、県内各プレイガイドで発売しています。また、各市役所や役場でも取り扱っていますので、お気軽にお問い合わせください。

◇

この夏、「グリーンピックに行った?」というのが合言葉になるように、県民あげて盛り上げ、参加し、そして一人ひとりが緑と水の大切さを考える機会を持っていただきたいものです。